

# マークエステル展

日本神話に魅せられて



EXHIBITION OF MARCESTEL  
作家来場

2019 4/16 [火] >> 4/21 [日]  
11:00—18:30 最終日は 16 時まで  
会場／銀座アートホール 1F 主催／株式会社 H & T

## マークエステル・スカルシャフィキ MARCESTEL SQUARCIAFICHI



- 1943 パリ生まれ。その後、南仏コートダジュールのエズで両親が経営する「バナノレイホテル」に移り住む。
- 1950 フランスのホテル協会会長である父が経営の「カップエステルホテル」に移住し、7歳から50年過ごす。
- ホテルには世界の著名人が訪れ、若き日の彼の感性を磨いた。
- 近くに住んでいたシャガールと交流し「君は絵描きに向いている。是非画家になら良い」と勧められる。
- 1960 パリ大学経済学部で経済学士号を取得後、ボザール美術学校とカモンド美術館で学ぶ。
- 1968 ラオス・フランス大使館勤務。翌年、モーリス・シユーマン外務大臣の秘書となる。
- 1970 大阪万博に訪れた際、清水寺の水墨画の滲みの美しさに感銘を受け、画家に転身。
- 岡本太郎氏との交流が始まり、二人は誕生日が同日で16回共に祝う。
- 1981 「カップエステルホテル」の宿泊客であるチャーリー・チャップリン、カラヤン、ザ・ビートルズ、ケネディ家、ポンピドゥー家、デヴィッド・ロックフェラー等と交流を深める。
- 来日を希望されていたモナコ公国のグレース王妃を神戸ポートピア博覧会に案内する。
- 1987 アフリカ、及びアジアの子供達の支援を始める。現在、トーゴ、ブルキナファソ等で3つの学校を運営。
- 1989 ソニーの盛田会長の好意により銀座ソニービル全館を使用し個展を開催。東京渋谷の東急文化村のオープニング企画として個展を開催。
- 1996 伊勢神宮、出羽三山神社より作品奉納の依頼を受けたことを機に全国の神社への奉納を決意。
- 2006 「日本神話 by MARCESTEL」を七か国語で出版。
- 2007 神道文化会より文化奨励賞を受賞。
- 2008 上野の森美術館にて個展。北京の坦博美術館に常設スペースオープン。
- 2009 南仏 RETIF 美術館オープニング企画に出品。
- 2010 上海万博にアートディレクターとして参画。銀座アートホールにて個展（以降2019年まで毎年）
- 2011 三浦美術館（松山）にて個展。作品を舞台芸術化したコンサート「神代音絵巻～むすひ～」を開催。（高松）
- 2012 作品を舞台芸術化したコンサート「神代音絵巻～えひめ～」を開催。（松山）
- 2013 「出雲大社『平成の大遷宮』奉祝奉納公演 絵と音と舞のコンサート～出雲に捧ぐ～」に作品映像提供。（出雲大社 東神苑 特設ステージ）
- 2014 下村文部科学大臣より「文化関係者文部科学大臣表彰」を受章。
- 2015 九州国立博物館、横浜市大倉山記念館、さいたま市文化センター、クリエート浜松、あわぎんホールにて個展。
- 2016 大東市立総合文化センター、高松シンボルタワー展示場、クリエート浜松にて個展。
- 2017 飯田弥生ギャラリー（四谷）にて個展、Gallery LA REINE オープニング企画（神戸）、作品を舞台芸術化した公演「日本神話 by マークエステル」を開催。（明治神宮会館、レクザムホール高松）
- 2018 石川県政記念しいのき迎賓館にて個展。（金沢）、FLORE Artist Gallery（神戸）、クリエート浜松、エルガーラギャラリー（福岡）、レクサス高岳ショールームにて個展。（名古屋）
- 2019 横浜市大倉山記念館にて個展

現在、全国179社の神社に作品を奉納。サロン・ドートンヌアジア代表。  
パリ、ニューヨーク、ロンドン、ヨハネスブルク、シンガポール、北京、上海等、国内外にて個展多数。

表紙絵／神々の太古の占い（一部）、心の中の波の愛（一部）

会場／銀座アートホール 1F

東京都中央区銀座 8 丁目 110

TEL. 03-3571-5170

<http://ginza-arthall.com/>

JR / 「新橋駅」銀座口 徒歩3分 「有楽町駅」銀座口 徒歩7分

地下鉄 / 「新橋駅」5番出口 徒歩3分 「銀座駅」C2出口 徒歩7分

主催／株式会社 H & T

東京都世田谷区代田 6-6-9-2B

TEL. 03-6407-4343 E-mail: [info@h-a-t.jp](mailto:info@h-a-t.jp)

<http://h-a-t.jp/>



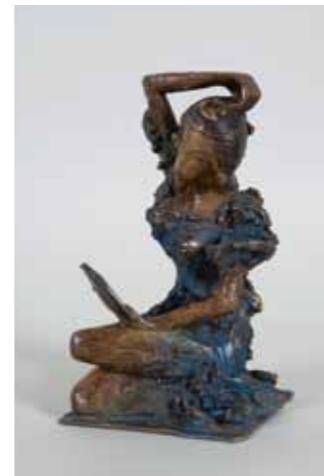
コリドー街に面しています Web やカーナビでの検索時は、「東京都中央区銀座 8-2 先」でご指定ください



佐知鹿古の帰還 油彩 60F



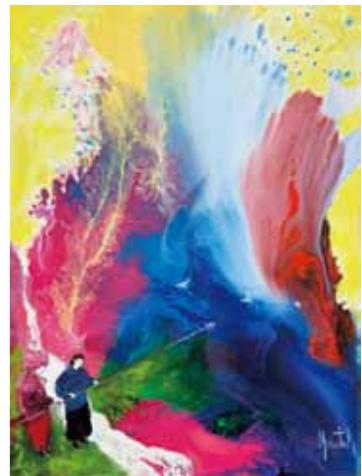
愛の歌を奏でる ブロンズ 30x40x30



身繕いをする天宇受命 ブロンズ 11.5x11.5x21



愛の流れ 油彩 40F



伊邪那岐命と伊邪那美命の永遠の調べ 油彩 60F

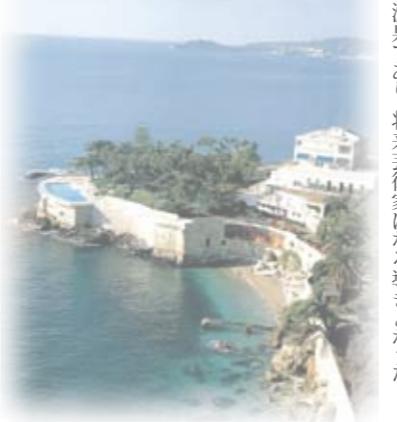
## 日本神話に魅せられて

日本人が忘れていた日本神話『古事記』の世界を美しい色彩と神秘的な滲みで今に甦らせるマークエスティル。今まで神話のテーマで約800点の絵を描き、その内、代表作を179社の神社に奉納して参りました。彼の創造の源は、日本に対する深い愛情、そして神に対する真摯な崇敬の念であります。持ち前の色彩感覚で天に身を委ね、幼子のように自由に色と戯れて描く作品には、作為がなく純粋で観る者の心を惹きつけて止みません。今年76歳を迎えたマークエスティルですが、創作の情熱は衰えることなく、常に新しい表現を模索し、波佐見焼や掛軸など更に制作の幅を広げています。今企画では、新作の油彩画、ガラス工芸品、ブロンズ、陶器、版画、掛軸等の代表作約80点を一堂に展示いたします。是非、この機会にご高覧ください。

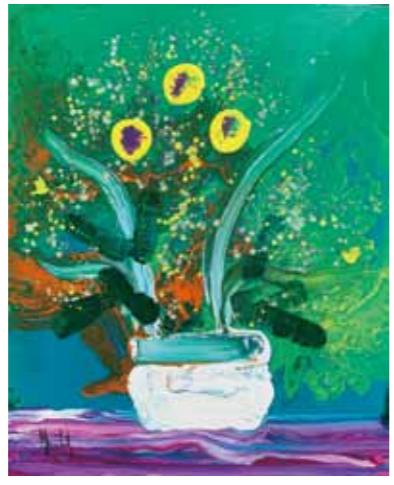
株式会社H & T 代表 濱崎 佐知子



マークエスティルが一九五〇年から二〇〇〇年まで過ごした「カッペエスティル」はイタリア語で「星の岬」を意味する。ニースとモンテカルロの間に位置し、壮大な庭園とそれに続く深い紺碧の地中海が混ざり合う格別に美しい景観で訪れる世界の要人達を魅了した。「カッペエスティルホテル」は彼の芸術にインスピレーションを与える重要な源泉であり、将来芸術家になる導きとなつた。



天使から届いた太陽のブーケ 油彩 80F



心に響く愛 油彩 40F



綿津見神の祝福を届ける  
ガラス工芸品 φ19×22



愛の万物 京焼 17.5x11x16 / φ5.7x4.8=5客

手彩入ジクレー版画とは  
ジクレーとはフランス語で「吹き付けて着色する」という意味で、現在では高密度デジタル出力の総称として使われています。ジクレー版画の上に作家が、丹念に手彩を施し、エディションとサインを入れ、シート裏面に署名捺印をして完成となります。



天之御中主神の寛大な愛 手彩入ジクレー版画  
20F



天照大御神の祝福を運ぶ小鳥たち  
手彩入ジクレー版画 20F



伊邪那岐命・伊邪那美命の愛情の光  
手彩入ジクレー版画 65x43.3



南フランスからの微笑み 油彩 20F



喜びの始まり 油彩 15F



ベニスの詩的な空 油彩 10F



愛のシンフォニー 手彩入ジクレー版画  
37.8x48.0



黄金色のブーケ 手彩入ジクレー版画  
32.3x27.0



大八島の誕生 手彩入ジクレー版画  
50.0x38.0